

戦略の目的

人口減少下においても持続可能な都市運営を実現するため、**関係機関が今後10年間で取り組むべき交通施策（主にハード施策）をパッケージ化し、将来都市像である「ネットワーク型コンパクトシティ」を都市交通の面から推進**するもの。

戦略の考え方

- 「まちなか居住区域を有する**主要な市街地**（主要な拠点内・主要な拠点間）」「**主要な市街地以外**（周辺の拠点や都市圏間）」に分けて、それぞれの交通状況や基盤整備の状況、交通課題等に応じて施策を展開
- 先端技術を活用した**交通体系の利便性や快適性向上**などは**都市圏全体で取り組む**

戦略1～3の内容

★将来都市像＜第二次都市計画マスタープラン＞

ネットワーク型コンパクトシティIwaki

★都市交通の基本目標＜第二次いわき都市圏都市交通マスタープラン＞

まちづくりと連携した交通体系の構築によるネットワーク型コンパクトシティIwakiの実現

★いわき都市圏総合交通戦略

※ 複数の戦略に跨る事業も一部存在

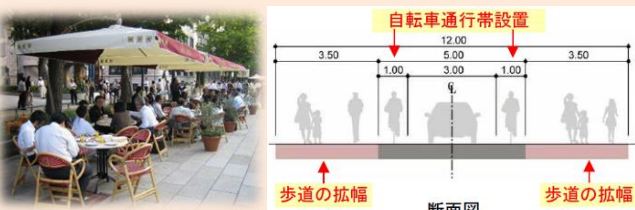
■基幹的交通軸の強化によるまちなかへの居住・来訪しやすさの向上

主要な市街地を対象

- ▶ 主要な市街地間において、基幹バス路線や都市計画道路を中心とする道路ネットワークの充実・強化を図る
- ▶ 市街地内では、駅前広場などの交通結節点の機能強化、居心地がよい魅力的な歩道空間の創出、安全で快適な自転車走行空間の形成などに取り組む

（主な事業）

まちなかウォークアブル空間の推進



街路空間の広場化、滞在性・快適性向上の取組み

基幹バス路線の交通円滑化対策



バスベイなどの整備

モビリティ・ハブの整備

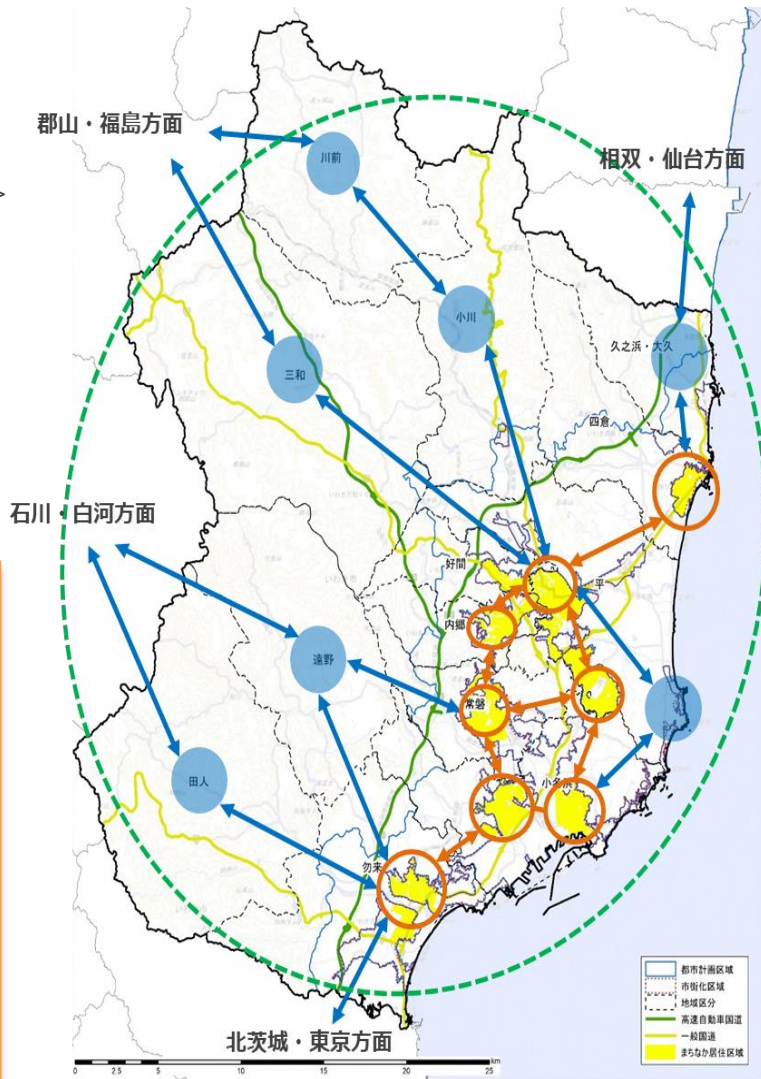


シェアモビリティ設備の整備

主要な駅・バス停待合所の改善・機能強化



上屋の設置



戦略目標Ⅰ

■市内の広域連携を実現するネットワークの形成

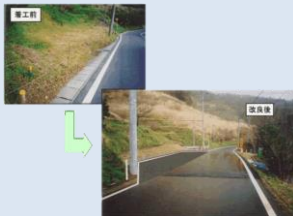
（主な事業）

- ▶ 主要な幹線道路による広域道路ネットワークの構築や災害に強い強靱な道路ネットワークの構築を図る
- ▶ 地域の特性に応じた地域内交通の確保に合わせ、公共交通を利用した円滑な移動に資する交通拠点の整備・充実に取り組む

広域道路ネットワークの形成



生活道路等の危険の解消



道路構造物の長寿命化対策



法面对策



戦略目標Ⅱ

主要な市街地以外を対象

■先端技術を活用した環境にやさしくシームレスな社会の実現

- ▶ 環境配慮型車両の導入促進やシェアリングエコノミーの推進などにより、環境にやさしいシームレスな交通システムの構築に取り組む
- ▶ 新技術に対応した道路整備や、先端技術を活用した道路維持管理などにより道路交通サービスの高度化・適正化に取り組む

（主な事業）

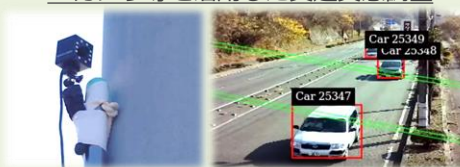
シェアリングエコノミーの推進



新技術に対応した橋梁等の点検



AIカメラ等を活用した交通実態調査



環境配慮型車両導入のための設備整備



戦略目標Ⅲ

都市圏全体を対象



いわき市地域公共交通計画の概要

計画期間：2023年春頃～概ね5年間、対象区域：いわき都市圏（いわき市全域）

計画の
目的

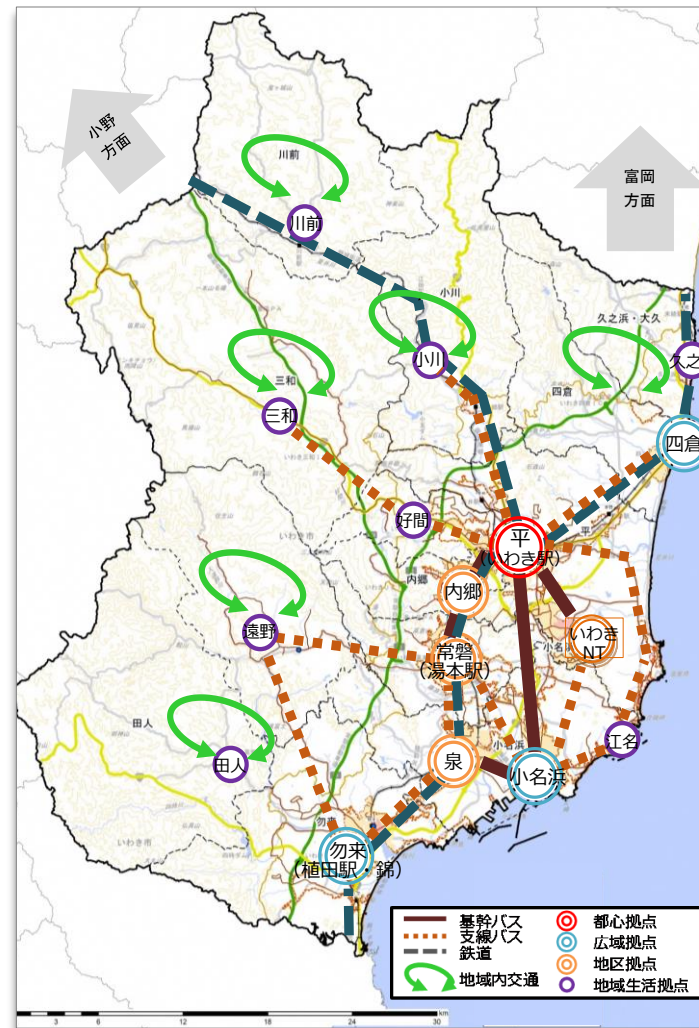
計画の
考え方

人口減少・超高齢社会に対応するため、**地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿**を明らかにするとともに、**今後5年間で取り組むべき施策（主にソフト施策）を示し、将来都市像である「ネットワーク型コンパクトシティ」を実現**するもの。

- ① 過度な自動車依存から脱却し、全ての人に優しい都市の実現に向け、本計画では、その第一歩として「**意外と便利な公共交通の認知・構築**」から着手。
- ② 100年に一度のモビリティ革命といわれる**社会変革に対応した取り組み**を進める。

全ての人に優しい都市の実現
過度な自動車依存の低減
意外と便利な公共交通
の認知・構築

《公共交通ネットワーク方針》



★将来都市像＜第二次都市計画マスタープラン＞

ネットワーク型コンパクトシティ Iwaki

★都市交通の基本目標＜第二次都市交通マスタープラン＞

まちづくりと連携した交通体系の構築によるネットワーク型コンパクトシティ Iwakiの実現

★地域公共交通計画（案）主な施策について記載

基本目標
Ⅰ

■選ばれる公共交通の構築

- ▶ 将来の公共交通ネットワークを見据え、路線の再編や運賃・ダイヤの最適化等を図る。
- ▶ 鉄道、バス、タクシー等の利用促進に努め利用しやすい（意外と便利）な公共交通の構築を図る。

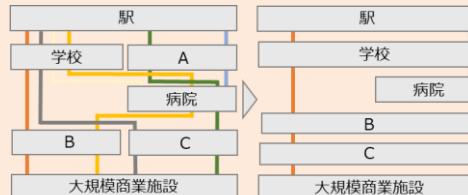
PJ-1公共交通最適化・利便性増進等プロジェクト

路線バスの最適化

時刻	分				
9	00	10	20	35	
10	00		20	40	50
11			30	45	
12	00	5	20	35	50
13		5	30	40	
14	00		20	30	50

時刻	15分間隔	分			
9	00	15	30	45	
10	00		15	30	45
11	00		15	30	45
12	00		15	30	45
13	00		15	30	45
14	00		15	30	45

運行ダイヤの平準化の例

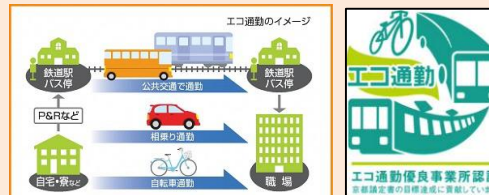


経由先の統一の例

主にまちなか居住区域内と拠点間を対象

PJ-2公共交通利用転換プロジェクト

エコ通勤の促進



官民が連携した通勤手段の多様化

基本目標
Ⅱ

■セーフティネットとなる公共交通の確保

- ▶ 主体となる地域住民と交通事業者、行政との協働により、地域のニーズに沿った地域公共交通（コミュニティ交通）の検討・導入を進める。
- ▶ 他の移動サービスとの連携も含めた検討により、生活の基礎を支える持続ある交通手段の構築を目指す。

主に公共交通不便地域等を対象

PJ-3 公共交通セーフティーネット構築プロジェクト

地域主体の住民輸送の取組み支援



自家用有償旅客運送など

多様なニーズに対応したタクシー等の活用



タクシー利用料金助成など

鉄道・路線バスの維持・物流の効率化



既存交通を活用した貨客混載

基本目標
Ⅲ

■新技術等を活用した移動手段のサポート

- ▶ 都市交通サービス全体の利便性を高めるMaaSの構築や新たな移動手段の確保により、地域住民、来訪者への移動手段をサポートする。
- ▶ 非接触型決済システムや路線検索が可能となるバスロケーションシステムの導入など、公共交通のDX（デジタルトランスフォーメーション）化を推進し、公共交通利用者の利便性の向上を図る。

PJ-4新技術を活用した利便増進プロジェクト

いわき版MaaSの構築



検索・予約・決済等の一括化

スマートモビリティの導入促進



新しい移動サービスの構築

PJ-5交通利便性向上プロジェクト

非接触型決済システムの導入



交通系ICカードによる
交通データの集積・解析

バスロケーションシステムの導入



路線検索・リアルタイム運行状況
の把握